

株式会社UPDATER

インパクト評価書

2025年1月29日

インパクト分析フロー

・ 下記のフローで当社のインパクト（環境・社会・経済に与える影響）を分析いたしました。

工程		内容
①	バリューチェーン分析	事業を各工程で区切り、価値創造プロセスを整理することで、インパクト分析の下地を作ります。
②	インパクトマッピング	国際標準産業分類（ISIC）を用いて、業種別の一般的なインパクトを22項目で確認します。
③	インパクトの特定	①、②、そしてヒアリング結果等からインパクトを特定し、SDGsとの関連性や社会的なニーズ等との整合を確認します。
④	目標・KPI設定	特定したポジティブインパクトが増大、あるいはネガティブインパクトが抑制されるような目標とKPIを設定します。



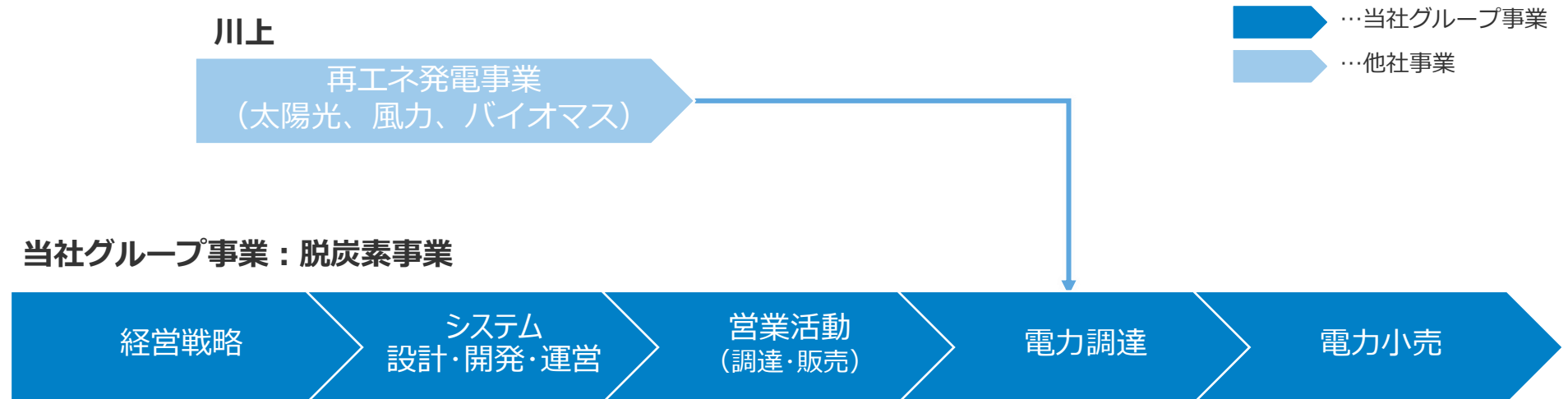
インパクトカテゴリー		PI	NI	PI	NI
1	水	0	0	0	0
2	食糧	0	0	0	0
3	住居	0	0	0	0
4	健康・衛生	0	0	0	0
5	教育	0	0	0	0
6	雇用	0	0	1	1
7	エネルギー	2	0	0	0
8	移動手段	0	0	0	0
9	情報	0	0	1	0
10	文化・伝統	0	2	0	0
11	人権と人の安全保障	0	0	0	0
12	正義	0	0	0	0
13	強固な制度・平和・安定	0	0	0	0
14	水（質）	0	0	0	1
15	大気	2	0	0	1
16	土壌	0	0	0	2
17	生物多様性と生態系サービス	0	1	0	0
18	資源効率・安全性	0	1	0	2
19	気候	2	0	0	1
20	廃棄物	0	0	0	1
21	包括的で健全な経済	0	0	1	0
22	経済効率	2	0	0	0

インパクト	目標（案）	KPI（案）	関連するSDGs
気候、資源効率・安全性	・ 〇年度のGHG排出量（〇年度比）	・ GHG排出量削減率（〇年度比）	13, 14, 15
資源効率・安全性、廃棄物	・ 産業廃棄物の発生量 ・ 化学物質排出原単位	・ 〇年度 〇 t ・ 〇年度 〇Nnt/年/t	9, 12, 15

インパクト評価書
（当行HPにて公表）

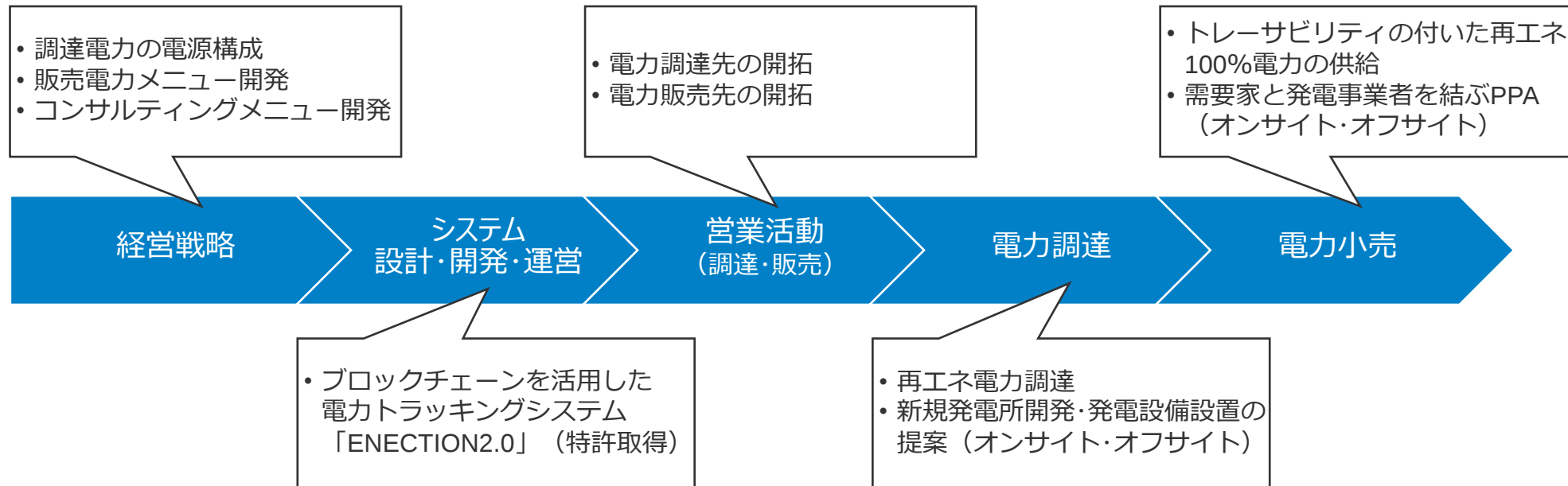
- 公表資料ならびに当社へのインタビューから、当社グループが展開する脱炭素事業について、バリューチェーン*分析対象としました
- 当該事業における主力商品である再生可能エネルギー発電事業（太陽光、風力、バイオマス）を川上として整理しています

*当社グループおよび川上の事業活動が付加価値を生み出す一連の流れ



- 当社グループ事業：脱炭素事業のバリューチェーンの各ステップにおける具体的な業務内容は以下の通りとなります

当社グループ事業：脱炭素事業



- ・ 特定した当社の事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、UNEP FIのマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

当社グループ事業：脱炭素事業（システム設計・開発・運営） ⇒ ISIC：6311 データ処理、ホスティング及び関連業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー			NI	NI補足
		①	水	①		
		②	食糧	②		
		③	住居	③		
		④	健康・衛生	④		
		⑤	教育	⑤		
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1	労働条件
		⑦	エネルギー	⑦		
		⑧	移動手段	⑧		
情報へのアクセスに貢献	2	⑨	情報	⑨		
		⑩	文化・伝統	⑩		
		⑪	人格と人の安全保障	⑪	2	データ保護・プライバシーを脅かす可能性
		⑫	正義	⑫		
表現の自由	1	⑬	強固な制度・平和・安定	⑬	1	表現の自由を阻害する可能性（検閲）
		⑭	水（質）	⑭		
		⑮	大気	⑮		
		⑯	土壌	⑯		
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰		
		⑱	資源効率・安全性	⑱		
		⑲	気候	⑲	1	データ保存・処理に関連するエネルギー消費・GHG排出
		⑳	廃棄物	㉑		
健全な経済を可能にする	1	㉒	包摂的で健全な経済	㉒		
		㉓	経済収束	㉓		

(凡例) PI：ポジティブ・インパクト、NI：ネガティブ・インパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

- ・ 特定した当社の事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、UNEP FIのマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

当社グループ事業：脱炭素事業（送配電、電力小売） ⇒ ISIC：3510 発電・送電・配電業

PI補足	PI	インパクトカテゴリー			NI	NI補足
		①	水	①		
		②	食糧	②		
住宅に貢献	1	③	住居	③		
健康に貢献（衛生）	1	④	健康・衛生	④		
		⑤	教育	⑤		
生計の維持	1	⑥	雇用	⑥	1	健康と安全の条件
エネルギーへのアクセス	2	⑦	エネルギー	⑦		
		⑧	移動手段	⑧		
情報へのアクセスとコネクティビティに不可欠	1	⑨	情報	⑨		
		⑩	文化・伝統	⑩	1	世界自然遺産に影響を与える可能性の高い脅威の一つ
		⑪	人格と人の安全保障	⑪		
		⑫	正義	⑫		
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬		
		⑭	水（質）	⑭	1	汚染の一因となる可能性
		⑮	大気	⑮	1	汚染の一因となる可能性
		⑯	土壌	⑯	1	汚染の一因となる可能性
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	2	淡水の生態系や生物種に影響を与える可能性が高い
		⑱	資源効率・安全性	⑱	2	エネルギー、金属、鉱物
GHG排出回避に貢献する可能性（水力発電）	1	⑲	気候	⑲	2	GHG排出に寄与する可能性（石炭火力発電）
		⑳	廃棄物	㉑	1	老朽化した機械と鋼管
経済活動に不可欠	1	㉒	包摂的で健全な経済	㉒		
経済収束を促進	2	㉓	経済収束	㉓		

(凡例) PI：ポジティブ・インパクト、NI：ネガティブ・インパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

- ・ 特定した当社の事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、UNEP FIのマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

川上：太陽光発電事業 ⇒ ISIC：3512 太陽光発電

PI補足	PI	インパクトカテゴリー			NI	NI補足
		①	水	①		
		②	食糧	②		
		③	住居	③		
		④	健康・衛生	④		
		⑤	教育	⑤		
		⑥	雇用	⑥		
エネルギーへのアクセス	2	⑦	エネルギー	⑦		
		⑧	移動手段	⑧		
		⑨	情報	⑨		
		⑩	文化・伝統	⑩		
		⑪	人格と人の安全保障	⑪		
		⑫	正義	⑫		
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬		
		⑭	水（質）	⑭		
大気汚染削減に貢献	2	⑮	大気	⑮		
		⑯	土壌	⑯		
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰		
		⑱	資源効率・安全性	⑱	1	発電機製造用原材料
GHG排出量削減に貢献	2	⑲	気候	⑲		
		⑳	廃棄物	㉑		
		㉑	包摂的で健全な経済	㉑		
生活水準向上、経済発展に不可欠	2	㉒	経済収束	㉒		

(凡例) PI：ポジティブ・インパクト、NI：ネガティブ・インパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

- ・ 特定した当社の事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、UNEP FIのマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

川上：風力発電事業 ⇒ ISIC：3514 風力発電

PI補足	PI	インパクトカテゴリー			NI	NI補足
		①	水	①		
		②	食糧	②		
		③	住居	③		
		④	健康・衛生	④		
		⑤	教育	⑤		
		⑥	雇用	⑥		
エネルギーへのアクセス	2	⑦	エネルギー	⑦		
		⑧	移動手段	⑧		
		⑨	情報	⑨		
		⑩	文化・伝統	⑩	1	文化遺産に干渉する可能性
		⑪	人格と人の安全保障	⑪		
		⑫	正義	⑫		
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬		
		⑭	水（質）	⑭		
大気汚染削減に貢献	2	⑮	大気	⑮		
		⑯	土壌	⑯		
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰		
		⑱	資源効率・安全性	⑱	1	発電機製造用原材料
GHG排出量削減に貢献	2	⑲	気候	⑲		
		⑳	廃棄物	㉑		
		㉑	包摂的で健全な経済	㉑		
生活水準向上、経済発展に不可欠	2	㉒	経済収束	㉒		

(凡例) PI：ポジティブ・インパクト、NI：ネガティブ・インパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

- ・ 特定した当社の事業分野について、国際標準産業分類（ISIC）における産業分類に紐づけました
- ・ その上で、UNEP FIのマッピングシートを用い、以下産業分類の一般的なインパクトを特定しました

川上：バイオマス発電事業 ⇒ ISIC：3519 バイオマス発電

PI補足	PI	インパクトカテゴリー			NI	NI補足
		①	水	①	1	水の大量消費
		②	食糧	②		
		③	住居	③		
		④	健康・衛生	④		
		⑤	教育	⑤		
		⑥	雇用	⑥		
エネルギーへのアクセス	2	⑦	エネルギー	⑦		
		⑧	移動手段	⑧		
		⑨	情報	⑨		
		⑩	文化・伝統	⑩	1	文化遺産に干渉する可能性
		⑪	人格と人の安全保障	⑪		
		⑫	正義	⑫		
		⑬	強固な制度・平和・安定	⑬		
		⑭	水（質）	⑭		
大気汚染削減に貢献	2	⑮	大気	⑮		
		⑯	土壌	⑯		
		⑰	生物多様性と生態系サービス	⑰	2	燃料調達による生態系劣化と生物多様性損失の可能性
		⑱	資源効率・安全性	⑱	2	土地、土壌、水の集約
GHG排出量削減に貢献	2	⑲	気候	⑲		
		⑳	廃棄物	㉑		
		㉑	包摂的で健全な経済	㉑		
生活水準向上、経済発展に不可欠	2	㉒	経済収束	㉒		

(凡例) PI：ポジティブ・インパクト、NI：ネガティブ・インパクト、2：影響大、1：影響あり、空：影響なし

インパクトカテゴリー		当社グループ事業				川上					
		システム設計・開発・運営		送配電・電力小売		太陽光発電事業		風力発電事業		バイオマス発電事業	
		PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI
入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質（一連の固有の特徴がニーズを満たす程度）	① 水										1
	② 食糧										
	③ 住居			1							
	④ 健康・衛生			1							
	⑤ 教育										
	⑥ 雇用	1	1	1	1						
	⑦ エネルギー			2		2		2		2	
	⑧ 移動手段										
	⑨ 情報	2		1							
	⑩ 文化・伝統				1				1		1
	⑪ 人格と人の安全保障		2								
	⑫ 正義										
	⑬ 強固な制度・平和・安定	1	1								
質（物理的・化学的構成・性質）の有効利用	⑭ 水（質）				1						
	⑮ 大気				1	2		2		2	
	⑯ 土壌				1						
	⑰ 生物多様性と生態系サービス				2						2
	⑱ 資源効率・安全性				2		1		1		2
	⑲ 気候		1	1	2	2		2		2	
	⑳ 廃棄物				1						
人と社会のための経済的価値創造	㉑ 包摂的で健全な経済	1		1							
	㉒ 経済収束			2		2		2		2	

(凡例) PI : ポジティブ・インパクト、NI : ネガティブ・インパクト、2 : 影響大、1 : 影響あり、空 : 影響なし

- インパクトマッピングの22項目のカテゴリとSDGsは、以下のように対応しています

		SDGs																
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
インパクトカテゴリー																		
①	水						●											
②	食糧		●															
③	住居											●						
④	健康・衛生			●														
⑤	教育				●													
⑥	雇用								●									
⑦	エネルギー							●										
⑧	移動手段											●						
⑨	情報									●								
⑩	文化・伝統											●						
⑪	人格と人の安全保障										●							
⑫	正義																●	
⑬	強固な制度・平和・安定																●	
⑭	水（質）						●											
⑮	大気			●														
⑯	土壌															●		
⑰	生物多様性と生態系サービス														●	●		
⑱	資源効率・安全性							●					●					
⑲	気候													●				
⑳	廃棄物												●					
㉑	包摂的で健全な経済					●			●									
㉒	経済収束	●																●

出所：環境省「インパクトファイナンスの基本的考え方」より当行作成

- ・インパクトがあると判定されたカテゴリとSDGsを対応させた結果、下図のように整理されました

当社グループ事業：脱炭素事業（システム設計・開発・運営）

⇒ ISIC：6311 データ処理、ホスティング及び関連業

ポジティブインパクト



・健全な経済を可能にする



・表現の自由



・生計の維持
・健全な経済を可能にする



・情報へのアクセスに貢献

ネガティブインパクト



・労働条件



・表現の自由を阻害する可能性
（検閲）



・データ保護・プライバシーを脅かす可能性



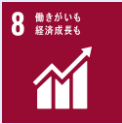
・データ保存・処理に関連する
エネルギー消費・GHG排出

- インパクトがあると判定されたカテゴリとSDGsを対応させた結果、下図のように整理されました

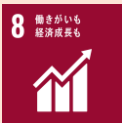
当社グループ事業：脱炭素事業（送配電、電力小売）

⇒ ISIC：3510 発電・送電・配電業

ポジティブインパクト

 経済収束を促進	 多くのサプライチェーンを支える、健全な経済の一部である製造業	 住宅に貢献
 健康に貢献（衛生）	 - 生計の維持 - 経済活動に不可欠	 GHG排出回避に貢献する可能性（水力発電）
 経済活動に不可欠	 情報へのアクセスとコネクティビティに不可欠	 経済収束を促進

ネガティブインパクト

 汚染の一因となる可能性	 健康と安全の条件	 GHG排出に寄与する可能性（石炭火力発電）
 汚染の一因となる可能性	 世界自然遺産に影響を与える可能性の高い脅威の一つ	 淡水の生態系や生物種に影響を与える可能性が高い
 エネルギー、金属、鉱物	 - エネルギー、金属、鉱物 - 老朽化した機械と鋼管	 - 汚染の一因となる可能性 - 淡水の生態系や生物種に影響を与える可能性が高い

- インパクトがあると判定されたカテゴリとSDGsを対応させた結果、下図のように整理されました

川上：太陽光発電事業 ⇒ ISIC：3512 太陽光発電

ポジティブインパクト



- 生活水準向上、経済発展に不可欠



- 大気汚染削減に貢献



- エネルギーへのアクセス



- GHG排出量削減に貢献



- 生活水準向上、経済発展に不可欠

ネガティブインパクト



- 発電機製造用原材料



- 発電機製造用原材料

- インパクトがあると判定されたカテゴリとSDGsを対応させた結果、下図のように整理されました

川上：風力発電事業 ⇒ ISIC：3514 風力発電

ポジティブインパクト



- 生活水準向上、経済発展に不可欠



- 大気汚染削減に貢献



- エネルギーへのアクセス



- GHG排出量削減に貢献



- 生活水準向上、経済発展に不可欠

ネガティブインパクト



- 発電機製造用原材料



- 文化遺跡に干渉する可能性



- 発電機製造用原材料

- インパクトがあると判定されたカテゴリとSDGsを対応させた結果、下図のように整理されました

川上：バイオマス発電事業 ⇒ ISIC：3519 バイオマス発電

ポジティブインパクト



- 生活水準向上、経済発展に不可欠



- 大気汚染削減に貢献



- エネルギーへのアクセス



- GHG排出量削減に貢献



- 生活水準向上、経済発展に不可欠

ネガティブインパクト



- 水の大量消費



- 土地、土壌、水の集約



- 文化遺跡に干渉する可能性



- 土地、土壌、水の集約



- 燃料調達による生態系劣化と生物多様性損失の可能性



- 燃料調達による生態系劣化と生物多様性損失の可能性

- 以上のような分析結果を基に、インパクトマッピングにより特定されたインパクトについて、当社グループが定めるサステナビリティへの取組み等との整合性を踏まえ、目標・KPIを以下のように選択し、設定しました

インパクト	目標	KPI	関連するSDGs
エネルギー 情報 大気 包摂的で健全な経済 経済収束 (PI) 気候 (PI, NI)	• みんな電力の販売電力量（法人・個人計） 2025年度から2028年度まで年度別に設定された目標値※	• みんな電力の販売電力量（法人・個人計）	       
気候 (NI)	• 全事業活動における使用電力の再エネ比率 2027年度 実質100%	• 全事業活動における使用電力の再エネ比率	
資源効率・安全性 廃棄物 (NI)	• 全事業活動における廃棄物削減量 2027年度 ▲30%（2024年度比）	• 全事業活動における廃棄物削減量	 

（凡例）PI：ポジティブインパクトの拡大、NI：ネガティブインパクトの抑制

※目標数値については、競争上の配慮から一般公表を行わないものとしています。
目標に対する実績の進捗、新たな目標値の設定については年次モニタリングで確認します。



ご留意いただきたい事項

- 本評価書の内容は、あおぞら銀行がその裁量により信頼できると判断した現時点で入手可能な公表資料や借入人へのヒアリングを通じて収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估し作成されたものですが、あおぞら銀行は、当該情報の正確性、適時性、網羅性、完全性及び特定目的への適合性その他一切の事項について表明または保証するものではなく、当該情報を使用した結果について一切の責任を負いません。
- あおぞら銀行は、法律、会計、税務等の専門的資格を求められる内容に関しアドバイスを行う立場にありません。これらの専門的内容等につきましては、独立したそれぞれの専門家にご相談願います。
- 本評価書に係る一切の権利はあおぞら銀行が保有しています。本評価書の全部または一部をあおぞら銀行に無断で複製、翻案、改変等することは禁止されています。